

2020年10月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 源氏田 尚子

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年9月28日（月）14:00～17:13
- ・場所：Teams 会議
- ・ワーキンググループ委員：源氏田委員、寺原委員、原嶋委員、山崎委員
- ・議題：インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）（協力準備調査（有償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR】北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）
 - 2) 【SEIA】北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）
 - 3) 【SC 時回答表】インド国北東州道路網連結性改善事業(フェーズ5)(協力準備調査(有償))SC案
 - 4) 【SC 時助言対応表】北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）
 - 5) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

補足

スコーピング段階ではアッサム州、トリプラ州、メガラヤ州の路線を一体的に検討したが、各州の検討の進捗状況の違いにより、今回はアッサム州の国道127B号線のみDFRを作成した。トリプラ州国道208号線およびメガラヤ州国道127B号線については、別途、DFRを作成し環境社会評価を行う。

全体会合（第117回委員会）

- ・日時：2020年10月5日（月）14:00～15:39
- ・場所：オンライン会議およびJICA本部（2階202会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 本事業から約5kmの距離にある Sareswar Beel IBA/KBA には希少な鳥類等が生息していることから、これらの鳥類等を対象とした丁寧なモニタリングを実施すること。
2. 採石場の選定に当たっては、水源地周辺を回避する、また当該国で定められる野生動物保護区や、IBA/KBA を回避することを FR に記載すること。
3. 騒音のモニタリング実施地点については、学校等の sensitive receptors も対象に含めるとともに、必要に応じ、防音壁の設置等の緩和策を講じること。
4. 大気汚染物質、騒音の予測値を FR に記載すること。

社会配慮

5. 住民の利便性向上と交通事故回避の観点から、道路ボックスカルバートの設置など道路横断に必要な措置について現地住民の意見を踏まえ実施機関と相談すること。
6. 住民移転の数について、スコーピング段階の評価と比べて大幅に増加した理由を FR に記載すること。
7. 代替案の検討においては非自発的住民移転等の回避・最小化などの基準を再整理の上、項目ごとの判断基準や重みづけなどを含めた総合的な判断根拠を FR に記載すること。

以上